

永本冬森

Tomori Nagamoto's Conceptual Poetry Project- Bittersweet Hotel

ビターズウィート・ホテル

大阪心斎橋にあるアートスペース CERO では、2010年8月23日より29日まで、ニューヨークを拠点に活躍する現代美術家 永本冬森(ながもと ともり)による、アートとポエトリー(詩)の融合を目指した新しいスタイルの展覧会、『ビターズウィート・ホテル』を開催いたします。

作家自らの手による Chapbook(手製本)を数量限定サイン入りで販売のほか、期間中の平日はギャラリーにて朗読会を行います。また連動イベントとして大阪の人気アートスポット2か所にて特別朗読会も行われる予定です。
*スケジュールは後日発表



■展覧会会期: 2010年8月23日—28日

■会場: Artist Space CERO

大阪市西区北堀江1丁目3-11 友成ビル2F

Tel/Fax 06-6538-0077 Web <http://cero-art.com>

■時間: Open 13:00 - 19:00 (日曜休廊、最終日は17:00まで)

■ポエトリー・リーディング(朗読会)スケジュール

8月23日 18:00~19:00 『ROOM 101』 会場: Artist Space CERO 入場無料

8月24日 18:00~19:00 『ROOM 201』 会場: Artist Space CERO 入場無料

8月25日 18:00~19:00 『ROOM 301』 会場: Artist Space CERO 入場無料
8月26日 18:00~19:00 『ROOM 401』 会場: Artist Space CERO 入場無料
8月27日 18:00~19:00 『ROOM 501』 会場: Artist Space CERO 入場無料
8月28日 20:00~22:00 『ビターズスイートホテル全作朗読』 : with 中井拓哉(もつきり屋)
会場: [u:ni:pon2kau2 art project space & bar]
大阪市北区堂山町 13-5 Tel/Fax 06-6313-2644
Website: <http://unipon2kau2.com/>
(カバーチャージ ¥300)

About

ビターズスイート・ホテル

「いつの時代も僕らは心の奥にあるものを言葉に置き換えようとしてきた」

—— カナダの情報誌『NOW』にてベスト・ヴィジュアルアーティストに選ばれ、絵画や写真、パフォーマンスアートなどメディアにこだわらない活動で注目を集める現代美術家 永本冬森は、なぜアートという世界にあえて「言葉」を持ち込んだのかを問うと、そう答えた。

『ビターズスイート・ホテル』は誰の心にもある静かで、安らぐで、安全な場所に存在するという。その架空のホテルを舞台に、私たちが抱える悩みや痛み、そして淋しさを、たった一本のボールペンから生みだされる魔術的なドローイングと、極限まで言葉を削った現代俳句とでもいえそうな独創的な散文詩で綴った、自身初のドローイング+詩集である。その無造作にホッチキス止めされた Chapbook を広げると、藍色のインクで描かれた繊細なドローイングのそばに、道端に置かれた小石のようにポツン、ポツンと短い英文の詩が添えられていた。その言葉はどれもシンプルで、飾りがなく、まるで仄暗い井戸の底から汲みあげられた地下水のように透明であった。それは誰かが発して消えていった言葉のようでもあり、また言葉にならずに消えていった誰かの想いのようにもみえた。

Twitter(ツイッター)や Mixi などでも人知れずつぶやかれている言葉や、宛先のない手紙のように配信される個人ブログのように、これまでメールや掲示板を介して行われていた相互交流のコミュニケーションが、より単独的で、交流を必要としない形へとシフトしてきている。しかし、それがどんなに深く、また狭い場所から発信されようとも、永本冬森が言うように、私たちが心の奥にあるものを言葉に置き換えようとするかぎり、想いは言葉となり、言葉は誰かに届き、届いた言葉はそこにまた新しいコミュニケーションを生むのではないだろうか。

誰にも言えないこと、聞かれたくないこと、

私たちは普段そんな言葉たちをどこにしまっているのだろう。

真夜中を過ぎたら、私の中にある『ビターズスイート・ホテル』を探しにでかけてみよう。

About

永本冬森

永本冬森(ながもと ともり) プロフィール:

現代美術家、詩人、茶人

1999 年よりカナダのトロントを拠点にアート活動を開始。アーティスト名「tomolennon」として、数々のコンペティションにてアワードを受賞。2002-2003 年にはトロントの二大情報誌『NOW』、『EYE マガジン』による読者投票で日本人として初めて“年間最優秀アーティスト賞”を受賞するなど約 10 年に渡りカナダのコンテンポラリー・アートシーンを牽引する。2007 年、国外では最大規模の日本文化会館である Japanese Canadian Cultural Centre にて個展を開催するほか、絵画、写真、詩やパフォーマンスアートなどジャンルにとらわれない多岐に渡る作品群はアメリカ、カナダを中心に中国でも発表され、TV ドラマやファッションブランドなど数多くのコラボレーションに起用されている。2008 年 10 月よりすべての創作活動を永本冬森名義に集約。現在、ニューヨーク、トロントを拠点に活動中。

また、ニューヨークのアート系非営利団体『Art Magnet』のキュレーター/プロデューサーとして数々の展覧会、アートプロジェクトを主催し、アートと社会を繋ぐ活動を行っている。2002 年、未来をつくる子どもたちをサポートするチャリティー基金『Let's Have a Dream!』を立ち上げ、南アフリカの貧困問題に取り組んでいるほか、世界中のアーティストから手作りのエコバッグを集め、世界の都市を巡回する『The Nomadic decob』を主宰し、大量生産・消費に対するエコシフトを提案するなど地球環境問題にも取り組んでいる。また 2005 年トロントの市庁舎広場で開催された「広島・長崎原爆デー」や、2006 年トロント大学で行われた「Peace Day」など、非戦のメッセージをライブペインティングで発信するパフォーマンスなども行っている。

ウェブサイト: <http://tomolennon.com>

永本冬森

Tomori Nagamoto's Conceptual Poetry Project- Bittersweet Hotel

ビターズウィート・ホテル

会期 2010 年 8 月 23 日—28 日

Artist Space CERO

大阪市西区北堀江 1 丁目 3-11 友成ビル 2F

Open 13:00 - 19:00 (日曜休廊、最終日は 17:00 まで)

Tel/Fax 06-6538-0077 Web <http://cero-art.com>

■プロデュース: 稲葉高志 (unipon2kau2 art project space & bar / UAPS)

■企画・制作: White Inc.

■お問い合わせ: info@tomolennon.com